

地域別の雇用失業情勢

完全失業率は、北関東・甲信、北陸、東海で3%台である一方、北海道、東北、近畿、九州では5%を超えている。また、有効求人倍率も、東海で約1.46倍になる一方、北海道、九州では0.7倍前後であり、いずれも地域により状況が異なっている。

	完全失業率(%)		有効求人倍率(倍)	
	平成17年10～12月		平成18年1月	
全国	4.3	(▲0.1)	1.03	(0.13)
北海道	5.3	(▲0.1)	0.66	(0.02)
東北	5.1	(0.4)	0.76	(0.08)
南関東	4.1	(▲0.4)	1.23	(0.20)
北関東・甲信	3.5	(0.0)	1.19	(0.12)
北陸	3.4	(0.0)	1.19	(0.18)
東海	3.2	(0.0)	1.46	(0.10)
近畿	5.0	(0.1)	1.02	(0.16)
中国	4.1	(0.2)	1.20	(0.18)
四国	4.3	(▲1.1)	0.89	(0.09)
九州	5.3	(0.0)	0.71	(0.08)

資料出所：総務省統計局「労働力調査」、厚生労働省「職業安定業務統計」

(注)1.完全失業率は、原数値。有効求人倍率は季節調整値。但し、北海道を除く各ブロックの有効求人倍率は、ブロック内の各都府県の季節調整後の有効求人数の合計を有効求職者数の合計で除したものの。

2.()内は原数値の前年同期差。

3.各ブロックの構成県は、以下の通り。

- ・北海道：北海道
- ・東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- ・南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- ・北関東・甲信：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県
- ・北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県